

【個人】

提出 平成 30年7月16日

山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名： 斜 里 岳 (1,547m)		(北海道斜里郡斜里町)
入山日：平成 30年7月9日 (月) 日帰り 帰宅日：7月14日		
プラン担当者 正：鈴木 副：		眺望無き斜里岳山頂
参 加 者	L：報：記： 鈴木	
	男 1名、女 名、計 1名	
天候：曇り		
月 日()	集合時間： なし	
7月9日 (月)	05：00 起床 登山口(清岳荘) 07：05 山行開始-08：00 下二股 08：00- 9：00 上二股 9：00-10：00 山頂 10：10-10：45 上二股 10：45- 11：20 熊見峠 11：20-12：00 下二股 12：00-12：45 清岳荘下山 行動 5h40 着後ウトロ木下小屋へ移動	
荒天候時のエスケープルート： 引き返す		
装 備 と 食 糧	共同装備：共 同 食：車提供者：すべて無し	
	個人装備： ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、ストック、グローブ、テルモス(水)、 ツェルト、帽子、サングラス、日焼け止め、携帯トイレ、熊避鈴、笛、 防虫スプレー、カメラ、 個人食： 昼食、行動食	
感 想	登山口の清岳荘は真新しい素泊施設で利用しないことを後悔した。歩き始めるとすぐに 沢が現れ、飛び石をはね歩く渡渉を何回も強いられた(ストック必携)。 下二又での分岐から旧道を進むと沢歩きの様相を呈し靴の水没こそないが、なめた一枚岩あ り、滝ありの普通の登山道には見られない面白いコースを堪能した。 沢歩き風登山路に心を奪われているうちに山頂に到着してしまったが、あいにくの曇り空と ガスで期待していたオホーツクとその中心を貫く知床半島の眺望は得られず早々に下山し た。帰りは沢筋ではない新道を利用し、下二又からは上りと同じ渡渉を繰り返し清岳荘下山 口に到着した。	